

2020年6月1日～2020年7月31日の間に 当院を受診された患者様・岡山大学病院内の医療従事者・岡山大学 病院外の一般集団の方へ

—「ユニバーサル・マスク時代におけるマスク着用状況～質的改善を目指して～」

へご協力をお願い—

研究機関名 岡山大学病院
研究機関長 金澤 右

研究責任者 岡山大学 大学院医歯薬学総合研究科 瀬戸内（まるがめ）総合診療医学講座
准教授 萩谷 英大

研究分担者 岡山大学 大学院医歯薬学総合研究科 社会環境生命科学専攻
総合社会医科学講座 総合内科学分野 教授 大塚 文男

岡山大学 大学院医歯薬学総合研究科 社会環境生命科学専攻
総合社会医科学講座 総合内科学分野 講師 小比賀 美香子

岡山大学 大学院医歯薬学総合研究科 岡山県南（玉野）総合診療医学講座
講師 谷山 真規子

岡山大学病院 総合内科・総合診療科
助教 徳増 一樹

1. 研究の概要

1) 研究の背景および目的

2020年1月以降、新型コロナウイルス感染症が世界中に拡散しています。一般的な感染対策としてマスク着用の重要性が強調されるようになり、特に人が密集する場所等では必ずマスクを着用する“ユニバーサル・マスク時代”が推奨されるようになりました。

以前より、病院内の感染対策において、医療従事者のマスクの正しい着用は最重要課題の一つと考えられてきました。“ユニバーサル・マスク時代”となりマスク着用頻度は量的に増加しましたが、“正しく着用”（質的）することは十分に強調されていません。

本研究では、医療従事者と非医療従事者（患者・家族・そのほか一般集団）におけるマスク着用の適正率を算出・解析することで、現状の問題点を把握をするとともに、マスク着用の適正化について注意喚起し、ひいては病院内外の感染対策に貢献するものです。

2) 予想される医学上の貢献及び研究の意義

正しいマスク着用の考え方を見直す機会となり、感染対策のレベルアップにつながります。

2. 研究の方法

1) 研究対象者

2020年6月1日～2020年7月31日の間に岡山大学病院に受診された患者様・岡山大学病院内の医療従事者・岡山大学病院外の一般集団の方

2) 研究期間

2020年8月21日～2020年8月31日

3) 研究方法

医学科生の選択実習の一つとして、マスク着用状況の調査に取り組んだグループがあり、2020年6月1日～2020年7月31日の間に当院に受診・入院された方のうち、外来・病棟などの院内でマスク着用していた方につき、鼻・口をしっかりと覆う形でマスク着用ができていたかを観察したデータを用います。

4) 使用する情報

マスク着用状況

5) 情報の保存、二次利用

この研究に使用した情報は、研究の中止または研究終了後5年間、岡山大学病院総合内科内で保存させていただきます。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピューターに保存し、その他の情報は施錠可能な保管庫に保存します。なお、保存した情報を用いて新たな研究を行う際は、倫理委員会にて承認を得ます。

6) 研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。

また、この研究における個人情報の開示は、あなたが希望される場合にのみ行います。あなたの同意により、ご家族等（父母（親権者）、配偶者、成人の子又は兄弟姉妹等、後見人、保佐人）を交えてお知らせすることもできます。内容についておわかりになりにくい点がありましたら、遠慮なく担当者にお尋ねください。

この研究は氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できるデータをわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

<問い合わせ・連絡先>

岡山大学病院 総合内科・総合診療科

氏名：萩谷 英大

電話（総合内科学医局）：086-235-7342（平日：9時00分～17時00分）

ファックス（総合内科学医局）：086-235-7342